

Personal Mobility Clutch

Designed for
more freedom



ご要求に対して豊富な仕様およびカスタマイズ可能な
寸法・トルク・寿命で最適なクラッチを提案します。

つばきパーソナルモビリティ用クラッチラインアップ

カム&ローラ 耐ラジアル荷重対応タイプ

New

開発状況：開発中
特許：出願中
特長：ベアリング不要
適用例：センターペダル軸



■ 椿本製
■ 他社製
※当社調べ



高トルク対応カム開発
→最大トルク**2.5倍**（当社比）
軽量・省スペース化

開発状況：量産中
特許：取得済み
特長：ベアリング不要
適用例：センタードライブモータ軸



■ 椿本製
■ 他社製
※当社調べ



※画像はイメージです

カム&ローラ 保持器なしタイプ

開発状況：量産中
特長：ベアリング不要、高トルク
省スペース
適用例：センタードライブペダル軸



■ 椿本製
■ 他社製
※当社調べ



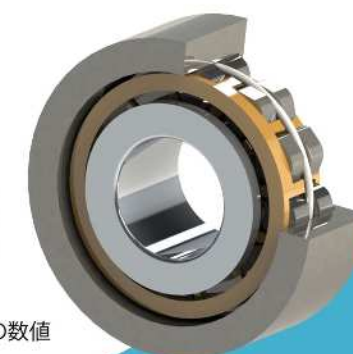
カム&ローラ 耐ラジアル・耐アキシアル荷重対応モデル

開発状況：開発完了
特許：出願中
特長：ベアリング不要
アキシアル荷重対応
適用例：センタードライブモータ軸
ハブユニット



※当社調べ
※ドラッグトルクはアキシアル荷重なしの数値

■ 椿本製
■ 他社製



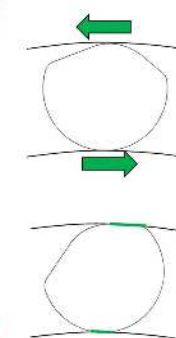
カム&ローラ ハブユニット対応モデル

開発状況：開発完了
特許：取得済み
特長：ベアリング不要
適用例：ハブユニット



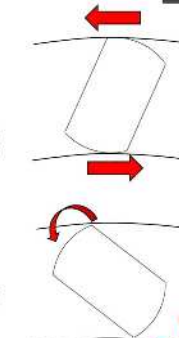
ロールオーバー：過負荷による破壊現象

■ オムスピ型



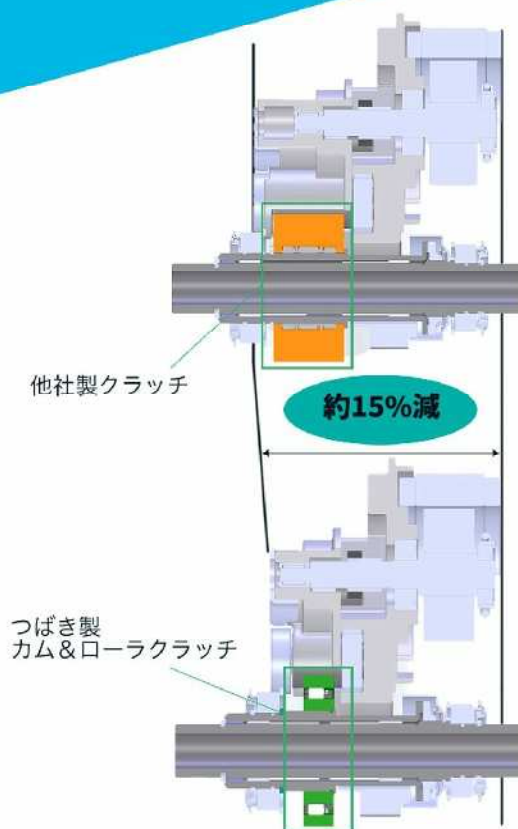
- ①通常の負荷トルクが作用している状態
(カムが適切な角度を保っている)
- ②大きなトルクが作用した状態
(カムが滑り機能不全に陥らない)

■ スプラグ型

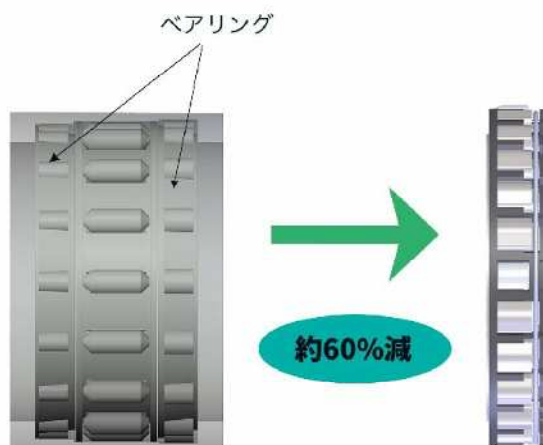


- ①通常の負荷トルクが作用している状態
(カムが適切な傾きを保っている)
- ②大きなトルクが作用した状態
(内外輪塑性変形させカムが異常回転し、機能不全に陥る)

性能比較



- ・クラッチ寸法：約60%DOWN
- ・ユニット寸法：約15%DOWN
- ・ドラッグトルク：約80%DOWN



伝達能力／寸法表

※下記値は参考値です（お客さまのご要望／アプリケーションに応じて最適設計します。）

単位：mm



カム&ローラタイプ
(耐ラジアル荷重)

検討例	許容トルク	最大許容トルク	内輪軌道径	外輪軌道径	最小取付幅
	N・m	N・m	mm	mm	mm
A社	127	270	30	38.294	10.7
B社	178	414	30	38.294	14.7
C社	227	451	40	48.294	10.7
D社	190	399	50	58.294	7.7
E社	455	788	50	58.294	14.7
F社	298	512	60	68.294	7.7
G社	409	704	60	68.294	10.7
H社	1020	1170	100	108.294	14.7

つばきカムクラッチはNo.1の信頼性・長寿命・コンパクト化により、車の電動化における省エネ性能向上に貢献します。

株式会社 **椿本チエイン**

モビリティ事業部タイミングシステム統括グローバルマーケティング部
Tel：042-976-9132 E-mail: e-mobility@gr.tsubakimoto.co.jp

製品紹介ページ



2025年5月13日発行 ©株式会社 椿本チエイン
「本リーフレットに記載のロゴ、商品名は株式会社椿本チエインまたはグループ会社の日本及びその他の国における商標または登録商標です」